

メッシュ平年値 2020 の特徴について

メッシュ平年値 2020 は、気象台やアメダス観測所の無い所の平年値を、地形や土地利用の影響を考慮に入れて、標準地域メッシュの 3 次メッシュ（約 1km 四方）ごとに推定したものです。その特徴は次のとおりです。

◆要素と種類

メッシュ平年値 2020 の作成対象要素と種類は、表 1 のとおりです。

表 1 要素と種類

要素	種類	単位	解像度
平均気温	日別値（新規）、月平均値、年平均値	0.1℃	1km
日最高気温			
日最低気温			
降水量	月合計値、年合計値	0.1mm	1km
最深積雪	月最大値（12 月、1 月、2 月、3 月） 年最大値	1cm	
日照時間	月合計値、年合計値	0.1 時間	
全天日射量	日積算量の月平均値、年平均値	0.1MJ/m ²	

◆メッシュ平年値 2010 との比較

平均気温は全国的に高くなり、特に東日本で差が大きくなっています（図 1）。また、降水量は多くの地域で多くなり、特に西日本太平洋側で割合が大きくなっています（図 2）。これらは、地点ごとの平年値の違いと整合的です。

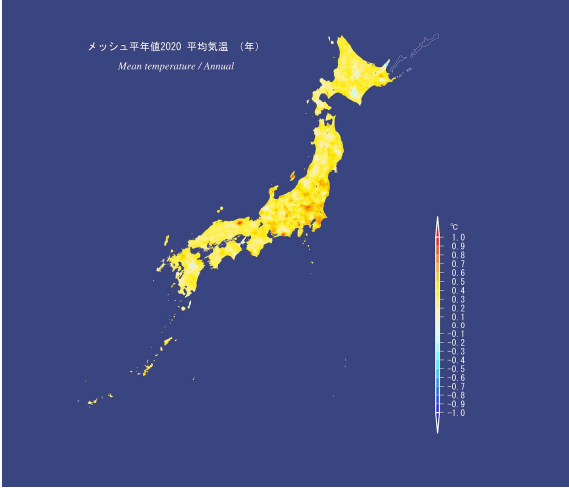


図 1 平均気温(年)の差
(メッシュ平年値 2020 － メッシュ平年値 2010)

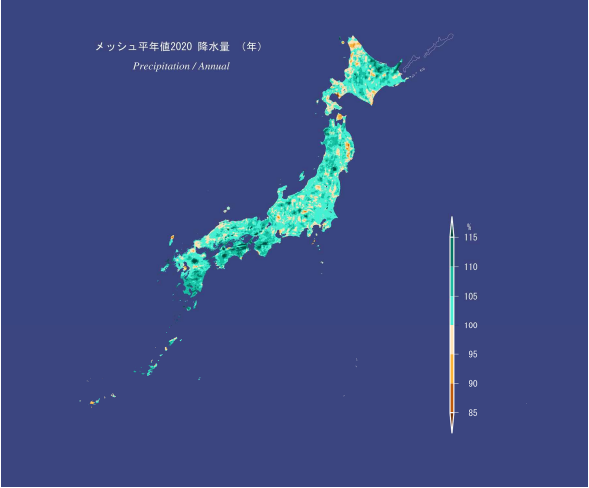
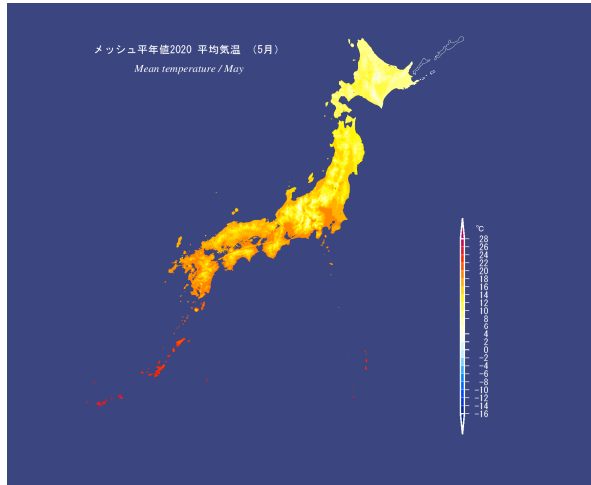


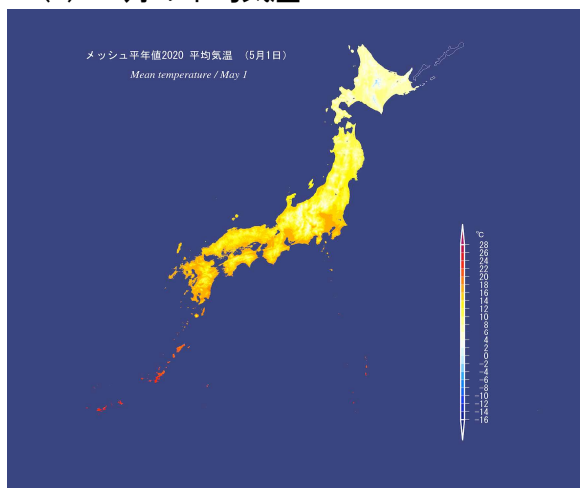
図 2 降水量(年)の比
(メッシュ平年値 2020 ÷ メッシュ平年値 2010 × 100)

◆日別値の作成

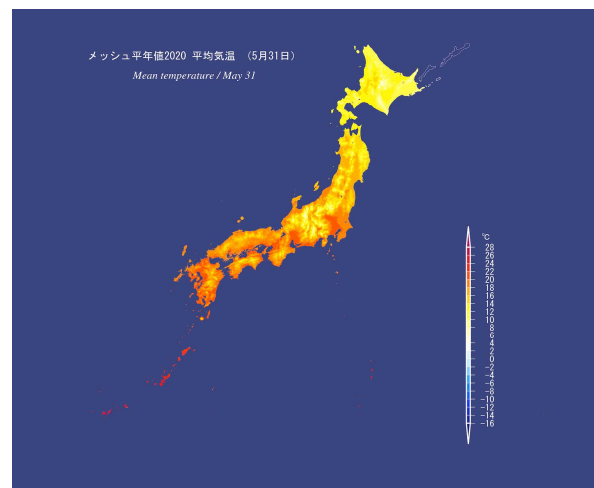
気温の日別値は、他の要素と比べて地形因子や都市因子で説明できる比重が大きいため、月別値と遜色のない精度で作成することができました。上旬と下旬で気温が大きく異なる月もあるので、日別値を用いることで、よりきめ細かな活用が可能となります（図3）。



(a) 5月の平均気温



(b) 5月1日の平均気温



(c) 5月31日の平均気温

図3 月別値と日別値の違い

(a)は月別値、(b)と(c)は日別値